

巻頭メッセージ

広報委員会からのお願い

——今すぐアドレスの登録を——



電気通信大学 システム工学科 教授
鈴木 和幸

新藤元委員長の跡を引き継ぎ本学会 30 年度の広報を担当しております。WWW の普及により広報活動も変革を迫られていますが、これまでの活動を記し諸兄各位からのご教示とご協力を賜ればと存じます。

1. メイリングリスト活用による情報提供

5 月末の時点において学会に登録がなされている e-mail アドレスは約 800 件です。この方々のメイリングリスト（以下 ML）を作成し、情報発信を開始いたしました。会員の皆様には 6 月初め会員名簿改訂の調査票をお送りし、この中で e-mail アドレスを登録できるようにいたしました。今回お寄せいただいたアドレスを先の ML に加え更新します。本調査は 7 月上旬に締め切りますが、その後は学会のホームページ (<http://www.jsqc.org/>) 上にて会員一人一人が各自で本 ML への登録・脱退ができるシステムの運用を開始します。

2. Home Page (HP) への取り組み

1) 各種行事案内を HP に掲載し、開催の案内とその中身（たとえば、研究発表会では詳細プログラム）を WWW により参照できるようにしました。

2) 上記の情報および「品質」誌掲載記事の文献検索システムのデザインを完了し、10 月から運用を開始予定です。

3) 入会申し込み・行事参加・会費振り込みなどに必要なフォーマットを WWW よりダウンロードできるようにしました。

4) “意見交換の場”のコーナーは、これまで学会員の HP へリンクを張って参照いただいていたが、本年度からは広報委員会の認可のもと、学会 Web 上に直接ご意見を掲載できるように拡張しまし

た。積極的に有効活用ください。

5) HP 英語サイトを企画し、学会概要・組織・沿革・入会案内および「品質」誌文献と研究発表会のタイトル・著者・キーワードを掲載予定です。

3. JSQC News の A4 判化

従来のタブロイド判では保管のしにくさが指摘され、また、より大きな活字をとという要請がありました。これを受け 5 月号より全体の構成と判組みを再構築しました。また、“世界の QC の動きに関するトップ向けの記事”を企画し、5 月号では司馬正次先生にご執筆いただきました。これらは Web から pdf ファイルとしてダウンロードすることも可能です。

4. 学会のリーフレットの作成

A4 サイズ 3 つ折りのリーフレットを作成いたしました。海外にてもご利用いただけるよう日本語と英語を併記し、また申し込み書も加えております。会員サービス委員会との協力のもと今年度 300 名を超える新入会員を迎えることができました。より多くの方々に当学会をご利用いただきたく、会員増強にご協力ください。リーフレットは事務局宛ご請求ください。

5. プレスへの発信

品質管理推進功労賞の紹介と受賞者氏名一覧（受賞者 29 名）の、日経産業新聞（2001 年 5 月 17 日朝刊）・日刊工業新聞（同 21 日朝刊）への掲載を行うことができました。

会員外への広報活動が不十分ですが、少しずつパイプを広げつつあります。何卒よろしくご教示ください。なお、以上の活動は 12 名の広報委員会委員のご尽力によるものです。

ここに深謝申し上げます。